



音楽運動



日本音楽協議会 〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町3丁目10-15 富士ビル505号室 発行人 松本敏之
TEL 03-3221-1821 FAX 03-6369-3057 URL <http://nichionkyou.org> Email nichion@yomogi.or.jp

11月25日は第60回日音協総会です
沖縄音楽祭第1回中央実行委員会も開催

第34回はたらくものの音楽祭 in Akita



働けど はたらけど 我が暮らし・・・
その思い歌に込めて

日時 2023.11.18(Sat)
13:30 開演

会場 秋田市にぎわい交流館AU 3F 多目的ホール

今は、必要な情報に簡単にアクセスできるようになって、音楽が好きで、好きなアーティストもいる皆さんは、net配信やYouTube・SNSなんかで視聴している方が多いですね。

率直にいうと、そうした文化には乗り遅れているという自覚はありますが、日本音楽協議会は、労働運動から生まれた音楽団体ですから、儲けることは棚に上げて、多くの皆さんと歌を通じて会話をし、コミュニケーションして、職場やくらしの不満や不安、楽しいこと、うれしいこと、悔しいことなんかを作品に仕上げて、働く者の立場や目線で歌い続けている団体です。

決してインターネットに疎いオジサンたちだけの団体ではありませんので、若い皆さんも中堅の皆さんも退職された皆さんも、多くの皆さんに参加していただけたら幸いです。

第34回はたらくものの音楽祭 In Akita 実行委員会

自治労秋田県本部 秋田県教職員組合 林野労働組合東北地方本部 全水道秋田水道労働組合 東北機械労働組合 運輸労連秋田県連合会 情報労連秋田県協議会 東北労働金庫労働組合秋田県支部 全農林労働組合秋田分会

秋田県支部の音楽祭です。参加や出演の問い合わせは、後藤雅裕 (090-5351-8840) まで

第54回はたらくものの音楽祭
2023年5月3日(土)～4日(日)新潟県長岡市リリックホールシアター

ブルーレイディスク完成

1セット2枚組3000円(送料込み)
全演奏曲収録(全国交流会)
歌詞テロップ付きです。
注文の連絡により代金振替用紙を
同封して現品を送ります。

〒862-0916 熊本市東区佐土原1-8-45-1005号
山田力 TEL 090 4514 7398

今年は早くも完成



坂口さん

高山さん

南條さん

福島原発事故から健康と暮らしを守る会総会・オーブニングで日音協が演奏

10月8日、浪江町で「福島原発事故から健康と暮らしを守る会」の総会が開かれ、日音協としてオーブニング演奏を行いました。

福島原発被害者の健康と医療を保証する「健康手帳」の交付を求める活動団体で、運営委員として南條・坂口の両名が参加していることからオーブニングを日音協の歌で開会したいとの要請に応えたものです。

発表した曲は、「これ以上海を・・・」(詩・曲 坂口美日)、「ざけんじやネエー汚染水放出」と「トリウム毒は毒」(詩・曲 南條善徳/編曲 高山博)でした。

つい最近、神田香織さん講談の前にこれらの曲を演奏したばかりなので事前練習無しでもバッチリの演奏でした。

開会前には福島県支部作成の反原発曲を集めたこれまでの動画も会場に流され、避難を余儀なくされた総会参加者も数多くいて、動画と演奏は大変好評でした。

歌の後には浪江町請戸消防団の事故直後に原発事故避難命令で救助を待つ人を救えなかった無念さを想う紙芝居も上演されました。

(南條善徳)

2023年度活動方針(案)

1 はじめに

新型コロナウイルス感染症は2023年5月に5類相当に感染症法の位置づけが変更され、まだまだ感染例は多いものの、音楽現場をもういちどつくり出す努力がされてきました。そうした中で、第54回はたらくものの音楽祭は、台風の影響で参加できなくなった沖縄県支部を除き全支部が結集し、成功をさせることができました。同時に、Remote Music Zoneの開催などインターネットを活用した演奏活動、創作活動の交流もはかっています。

日音協は、支部を日常活動の集約の場として、労働組合の集会をはじめ様々な場に出かけ、また、多くの音楽現場を作り出していきます。そして、生活のうた、職場のうた、平和のうたをつくり、うたい、ひろめ、つなぎあうことを柱に、はたらくものの立場にたった音楽運動のみずからを表現する運動を、職場・地域の中に広げていきます。私たちは、労働組合との連携を強めるとともに、労働組合に加入していないはたらく人々とも手を携えます。はたらくものの音楽祭と機関紙『音楽運動』を中心に全国的なつながりを大事に活動していきます。一方、若い人に日音協運動に参加していただくという点では、新潟県支部など努力もありますが、引き続き重要な課題です。行動の中で生まれた新しいつながりを、さらに2024年度の活動を通じて発展させていきましょう。

2 はたらくものの音楽祭

第55回はたらくものの音楽祭を、2024年9月21日、22日に沖縄県那覇市で開催します。

日音協各支部代表で中央実行委員会を構成して、労働組合等の協賛を得て主催するとともに、連合沖縄をはじめ沖縄県内の協力してくださる労働組合(支部)と日音協沖縄県支部で構成する第55回はたらくものの音楽祭沖縄県実行委員会が実行態勢を大きく支えることとします。

舞台スタッフの交通費を引き続き一部を日音協が負担することとしつつ、音楽祭特別会計の厳しい状況からその額は見直します。

第56回はたらくものの音楽祭の開催の準備をはじめます。

3 ブロック合宿

ブロック合宿は、会員と支部を基盤とする組織になった日音協が、新しい会員を迎える重要な機会であり、会員一人ひとりが、会員になってもらいたい人・会員になってもいいなと思っている人を誘って参加することをめざします。2023年度は北海道ブロック、東北北ブロック、関東ブロックと九州ブロックで合宿を開催できましたが、2024年度は北信越ブロック、沖縄県も合宿を開催するとともに、東北南ブロック合宿、四国ブロック合宿の開催をめざします。引き続き次により日音協中央財政から支援することとします。

① 日音協のいくつかの支部が合同で、または一つの支部が主催するもので、合宿形式をとること

② 外部講師、日音協中央を除いて5人以上の参加が見込まれるものであること

③ あらかじめ日音協中央に日程、会場を通知したものであること

④ 一年度一つの支部につきこれらの要件を満たす合宿が複数あるときは、そのうち参加者の多いものを優先して扱います

⑤ 金額は、一年度一つの日音協ブロック合宿につき、参加者(外部講師、日音協中央を除く)が5人の場合を10000円とし、参加者が1人増えるごとに10000円を増額します。ただし上限を40000円とします。

⑥ 金額は、一年度一つの日音協ブロック合宿につき、参加者(外部講師、日音協中央を除く)が5人の場合を10000円とし、参加者が1人増えるごとに10000円を増額します。ただし上限を40000円とします。

4 日音協セミナー2024と若い会員の交流会

日音協セミナー2024を「ステージスタッフコース」と「うた&演奏コース」の2コースとして開催します。若い会員に「日音協に入ってからよかった」と思ってもらえる取り組みとして、若い会員の交流会を音楽を基本にした交流会として開催し、新たな会員を迎えることをめざします。若い会員の中でも40歳以下の会員は往復交通費を日音協が負担します。まだ日音協会員になっていない若い人も歓迎します。

5 連合、平和フォーラムなどの行動に参加

引き続き、連合中央リーダー、各

県リーダーの集会、労働組合の大会・集会や行動などに積極的に参加、うたい演奏します。連合中央リーダーでの演奏を日音協の顔としての合唱・演奏と位置づけて、ていねいな合唱練習をして準備します。

平和フォーラムの構成組織として、平和フォーラムやその地域組織の行動に参加します。

さようなら原発1000万人アクション、戦争をさせない1000人委員会や5・3憲法集会をはじめとした総がかり行動など、地域の反戦・平和・脱原発・労働者の権利擁護のための行動に参加し、うたい演奏します。

6 沖縄に連帯する行動

沖縄では、第二次世界大戦で唯一地上戦が戦われ、アメリカの軍政のもとで土地を奪われ、米軍基地を造られ、今なお米軍専用施設の70%が集中しています。辺野古ゲート前の座り込みは感染症まん延防止のために長期の中断を余儀なくされましたが、再開の状況に応じて、沖縄の被害、差別の実態をまなび連帯するために参加を全国に呼びかけます。

とりわけ、2024年の5・15沖縄平和行進・県民大会に、日音協として参加します。日音協沖縄県支部と沖縄平和運動センターとの関係を密にして、これを全国の日音協が中央の平和フォーラムと協力しつつ支えることにします。

(3面につづく)

新たなつながりを発展させていきましょう

(2面からつづく)

7 県支部・サークルがつくる音楽現場

感染症のまん延により、2年半以上にわたって音楽現場づくりはとても困難でしたが、それでも感染防止の工夫をしながら少しずつ再開されてきました。改めて、県支部やサークルが積極的に音楽現場をつくりまします。また、毎月第3金曜日の官邸前反原発行動(反原発つたいたい)のように、街頭で訴える音楽現場も工夫します。

8 日音協ソングの募集など

日音協のみずから表現する運動の重要な柱である創作を推進するために、日音協ソング2024を募集します。各支部の意見をきいたうえで会長が指名する人と日音協幹事会メンバーあわせて8人で選考委員会を構成し、応募曲の中から全国に広めたいうたを選考し、音楽祭などで広めたい曲を配布するとともに、日音協会員には楽譜のデータを共有することを検討します。

日音協と共通の理念をもって歌を創っている音楽家にインタビュして「歌を創るということ」としてインターネットで共有します。

9 インターネットによる動画の配信等

YouTube 上の「Nichankyou Music」チャンネルを活用して、会員

やサークルの演奏する動画や音源を配信・共有します。また、リモート・ミュージック・ミーティングを引き続き開催します。

ホームページを充実するとともに、メーリングリストやSNSのような相互の情報共有を工夫します。CDや新しい歌集等を制作します。支部のCD等の制作を支援します。

10 組織活動

日音協は、個人である会員とその日常活動の集約の場である支部を基盤とする組織です。北海道支部、青森県支部、岩手県支部、秋田県支部、福島県支部、茨城県支部、千葉県支部、東京都支部、新潟県支部、長野県支部、富山県支部、香川県支部、九州支部、沖縄県支部の14支部と支部に所属しない会員とで構成されています。この1年間、会員数は2022年11月(194人)から入会3、退会5で2人減の192人(2023年11月1日現在)となります。

労働組合は、自治労、林野労組、東武交通労組と公務労協が賛助団体として支えてくれています。はたらくものの音楽祭は、開催県実行委員会をつうじてさらに多くの団体が支えてくれています。

地域支部と労組が日音協活動の基盤であるという認識から、日音協地域支部の新たな結成をはかりまします。

同時に、労働組合との関係を強化するとともに、労働組合全国組織「こと」に労組内の音楽活動家を組織する労

組音楽協議会(音楽集団)との連携を強化します。

若い仲間をはじめとして会員の拡大に全体で集中して取り組みまします。行動の中でおおいの参加者に演奏を聴いていただき、また地域でコンサートを開いて、一緒にうたう仲間を広げまします。音楽祭やブロック合宿に、新しい仲間積極的に参加を呼びかけまします。それと同時に、日音協は「音楽運動に定年はない」と言ってきましたが、改めてそのことが現実になるような活動をすすめてまします。

日音協会員は規約では支部会員と個人会員としていますが、これから新たに日音協に入会していただく方は、地域に地域支部がある場合は原則として地域支部に属することとしまた地域支部に属することが難しい場合には、幹事会の議論を経て個人会員とします。現在の個人会員も、地域に地域支部がある場合は、会員本人の理解と納得のもとに、順次地域支部に属していただくこととします。

日音協は、総会―全国代表者会議―幹事会という機関で、各支部の活動を集約し、全国的な活動を進めていきます。2023年度の幹事会はインターネットの活用(ズームミーティング)も含めて毎月開催します。2024年度の全国代表者会議は7月に開催し、第61回定期総会は11月に開催します。

11 機関紙活動

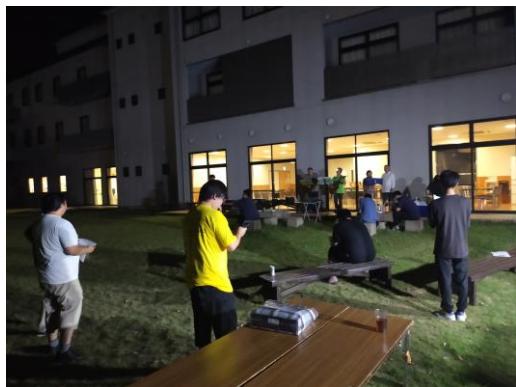
メールマガジンとして、機関紙『音楽運動』のA4版6ページ、月1回配信を継続します。印刷・郵送による発行も継続しますが、インターネット配信への切り替えを引き続きお願いしていきます。機関紙購読料は、取材・編集費用として引続き年2400円(月200円)とし、日音協会員は会費に含まれることとします。全国の動きを知らせるためにも写真を多用し、楽譜も多く掲載していきます。発行にあたっては、全支部、全会員が、編集部へ情報を送るとともに、編集部は年間の企画を立てて各支部・会員に原稿を要請し、支部も依頼された原稿の締切を守って、発行態勢を支えていくことにします。各支部事務局は会員・読者に届いているか、年1回は点検することとします。

12 財政活動

日音協は2009年の組織改変以後も、賛助団体が減少し、会員も減少傾向が続いています。会員を増やす活動に力を入れていますが、成果があらなければ財政規模の縮小は避けられません。

この3年間、感染症対策のために支出が大きく減った一方、事業収入なども大きく減っています。この間、事務局経費の節減をはかってきましたが、2024年度も堅実な執行につとめるとともに、新しい会員を迎えるために、各ブロック合宿や若い会員の交流会にはしっかり財源を配分します。

みんなで歌えるといい気分



9月30日(土)香川県青年センターで平友祭香川県祭典が開催され、講演や分散会終了後のバーベキュー交流会で参加者とうたごえ交流を行いました。

香川県支部は岡(み)、井下、三好、細川の4人で、「どんなに時が流れても」などの平和のうた、「心の旅」など若者のうた、原曲を簡素化した「武器を捨てて」を歌いつなぎ、交流会の最後には「エルベの誓い」を朗読後「平和の火よ走れ」をみんなで歌いました。交流会前に1時間程度練習したので、落ち着いて歌うことができ、改めて準備の大切さを認識しました。



10月20日(金)香川県社会福祉総合センターで10.21国際反戦デーが開催され、岡(み)と細川の2人で、開会前に瓦井さんの「ジュゴンが住む海」、香川国際反戦デー・バージョンとして少し歌詞を変えた「私たちは許さない」、簡素化した「武器を捨てて」をシングアウトしました。

戦争ができる国作りもついにここまで来たかと思わせる「沖縄、再び戦場へ」のDVD上映後、歌い覚えの「武器を捨てて」を手拍子も含め全員で合唱しました。いつも集会次第の外にある「うたごえ」、今回は集会決議前に歌うことができ、印象深いものとなりました。

(香川県支部 細川剛)

2023 日音協 SONG 紹介曲

長崎平和祈念像の歌

詩曲 今村一男

1. みぎのてはそらをわたるか
(2.) らくつよはくまはわたのびたれも
(3.) く閉じたまはわたのわかいえ

にのせてはすべのかもはいぜつをせかい
りおてはすべのかもはいぜつをせかい
ずのちったいせんいくすべのまんのへみた

にをよーびりかけています
をのいゆしくつもっています
2. ちかす
3. かる

4. へい わの いずみ ーには ーみず
(5.) が おど う そばに ーみず
(6.) が ど う そばに ーみず

が おど っ て い ま す ー ハト と ツル の た 羽 根
を お し て も あ る す く ー し ょ う じ ょ の た 手 記
お し て も あ る す く ー し ょ う じ ょ の た 手 記

を え が い た み ず が り お ど っ て い ま す
ー そ か た の まま ー の み まし
ー み ず

5. みず
6. みず

た ー 7. わたしのそばにーき

て ー か み の おおきなあいとーほと

けのふかいいつくしみをうけとめてくださ

1. E E E B7 B7 B7
2. E E E B7 B7 B7
い わた い あいと ーし み

を ー あいと ーし みを ー

85 A A E G#m
い い い い

89 F#m B7 E A E
い い い い



平和の塔に勢ぞろい

九州ブロック合宿のメイン会場はなんと屋外の公園！しかしその公園には、広島での原爆投下による火災の灯が、今も燃えているモニュメントがありました。これほど日音協の歌が似合う場所はないのでは？と思わせるステージです。この山奥でよくぞ見つけたものだとは九州支部の幹事に感心させられました。さて、合宿のスタートとして、山中さん、牟田さんのギター伴奏、山田さんの進行により、歌唱指導がされ、参加者全員で唄った「鳩よ舞い上がれ」「私は忘れない」はとても厳かな気持ちにさせられました。

唯一無二ゆも結成二回目のステージをやらせていただき、とてもノリの良い方々の中で、楽しくしばしの時間をつとめさせていただきました。ありがとうございます。その後は、三小田さんの名曲「うっ暗いな」、コロナウィルスの独唱、景色に溶け込んだ石下谷さんのコカリナと詩吟、そして松元さん庄巻のダンシングヒーローと、あっという間に時間は過ぎ、初日の日程は終了となりました。夜は久しぶりに温泉旅館らしい宴会でこちらも楽しく美味しい時間となりました。翌日の朝も前日の公園に行き、合宿の締め合宿を平和の塔に向け、平和の誓いを改めておこない解散となりました。

帰りの飛行機は出発時間を 30 分勘違いしていて、のんびりとお土産を買っている最中、空港から呼び出しの電話を三回頂く運びとなりました。時間は過ぎていましたが、VIP 待遇で無事搭乗し、ヒンシュクの空気の中、肩をつぼめて座席に着きました。

9 月は、東北北、九州と二回の合宿に参加させていただきました忙しかったですが、終わってみれば大変楽しく多くの収穫のあるものとなりました。ただ、帰ってきてケースに入れたままのギターをそろそろ片付けなければと思っています。（塚本昇）



広場で交流



鹿児島島の松元さん



鹿児島島の石下谷さん

福岡県八女市星野村には原爆の火がある。

1945 年 8 月 6 日広島に原爆が投下された。軍務で広島にいて被爆した星野村出身の山本達雄さんは、広島市にいた伯父の安否を必死で探し回ったが手掛かりも掴めず、終戦後故郷に帰る際、叔父の家の地下壕にくすぶる残り火をカイロに移し替え、星野村に持ち帰った。

その火は「恨みの火」または「供養の火」としてひっそりと守られてきたが、1968 年 8 月 6 日、原爆の火は星野村へ引き継がれた。

1988 年には国連第 3 回軍縮特別総会に「平和の火」として届けられ、また全国各地に採火されている。

その原爆の火の下で、9 月 28 日～29 日にかけて日音協九州支部は 3 年ぶりに支部合宿を開催した。

合宿には、会場の「星のふるさと公園」、「平和の広場」に鹿児島、熊本、福岡、佐賀から会員 6 人が集まり、また日音協中央幹事・塚本昇さんとその妻塚本茂子さんも参加した。

開会後まず黙とう。シングアウトに「鳩よ舞い上がれ」、「原爆を許すまじ」などを歌い、塚本夫妻による自作のレパートリーを披露、参加者からも自作の歌や楽器演奏が行われて一日目を終了。

夜は、夕食後の部屋交流で秋の夜長を談笑にふけりつつ、旧交を温めた。

翌日は再び平和の広場に集まり、シングアウトで佐賀県で開催される母親大会で歌う曲の練習を行い、3 年ぶりの合宿を終えた。

（山田力）

水道橋
だより

▼例年になく早く音楽祭のDVDが完成しました。文字が小さいので再掲します。【申込先】山田力、〒862-0916 熊本市東区佐土原1-8-45-1005号 090-4514-7398▼1 セット2枚組 3000円（送料込み）▼ぜひ購入を。（佐藤）▼2024日音協セミナーを開催します。詳細は、総会後に發文しますが▼2月10日（土）13時～12日（月・祝）13時、藤野芸術の家（神奈川県相模原市緑区牧野 4819）。「ステージスタッフコース」と「うた＆演奏コース」から選択。講師には、日下昇さん（スタッフ）と小笠原もずくさん（うた＆演奏）を予定しています。なお、若い会員の交流会は別日程で開催する予定です。▼都支部コンサート。12月2日。



▲スペースがとれなくて、スイマセン。

鈴木さんが「反原発うたいたい」の手作り横断幕を持って来てくれたので、背景が賑やかになりました。次回からは森が持参します。また来週！

歌の力が物語るもの
123

茱萸坂うた行動 10/13 (490回) 報告 Ricco

【参加者】茂伸さん、スーさん、かおるさん、守屋さん、イサさん、周平さん、鈴木さん、阿佐ヶ谷姉妹、達哉、森

計11名

菜蓂坂に近づくのと先に来ていたスーさんが「日音協の新人が来てるよ。」と声をかけてくれた。誰の事かと思ったら、先日代々木公園で行われた『ワタシのミライ』から日音協に入会してくれたばかりの茂伸さんだった（苗字が被るのでお名前

菜蓂坂を上る途中で、うた行動の存在に気づいたようだ。得意のタンバリンで軽やかにリズムを響かせてくれた。活動範囲がすごく広い方で、顔も広い。他の国会周辺の行動に向かう人たちが何人も声をかけていた。

た。周平さんはいつもよりちょっと身軽。「今日は少ないね」と口々言われたが、尺八やらクラリネットやらバイオリンやら、多才な多彩な楽器が次々出

周平さんはいつもよりちょっと身軽。「今日は少ないね」と口々言われたが、尺八やらクラリネットやらバイオリンやら、多才な多彩な楽器が次々出

てきた。『水に流すな』では尺八！いい感じ。鈴木さんが使わなくなった太いベルトを持ってきた。『Do！廃炉』の鞭の音用だ。達哉が貸してもらって嬉々として挑戦していた。みんないろいろ携えて、演奏を創っていく。

先週のスーさん・守屋ペアの作品『自分の言葉で 自分の声で』を歌った。「愛を語ろう 平和を歌おう 自分の言葉で自分の声で 誰もが自由に生きられる世界へ」から「声を上げよう 平和をつかもう 自分の言葉で自分の声で 誰もが幸せに生きられる世界へ」と歌う。世界のあちこちで戦闘が起こっている。爆撃の下にいるのは普通の暮らしを営む人々。異国ばかりではない、日本でも『全てを捨てて全島避難』を想定されている島がある。戦争は本当に、すぐそこまで来ている。

「阿佐ヶ谷姉妹」が官邸前方

向から下ってきて、しばらく一緒に歌った。あちこちの集会に姉妹で参加されている方で、お名前はわからないけれど、みんな「阿佐ヶ谷姉妹」と呼んでいる。イサさんと鈴木さんが気にかけてくれて、楽譜を差し出したり、フォローしてくれた。アコを弾きながらだと何もできないから助かる。歌詞カードも多めに用意しなくちゃ。でも、曲がすぐ増えるんだよね。



どん行

(172)

飯島貞親

いやすいところ
だけ言うというこ
となのか。芸能事
務所への気概を対
政治家にも持って
ほしいものだ。

▼記者会見にはいろいろあるものだ▼芸能事務所へのそれは、質疑応答が1社1問と限定され司会者が拳手をした記者を指名する形で行われた。この運営で手を挙げても指名しない記者やフリージャーナリストらのリストがあったとのこと。会見運営者は穏便に終わらせようとするのは当然だが、誠意のないことを証明するようなものでいただけない▼会見は騒然とした場面もあった。相手を怒らせて話を引き出すのも記者の取材手法のひとつなのだろう。見ていて気持ちの悪いものではないが▼「異常な性加害事件」といわれるこの問題。繁栄の全てが、少年たちの犠牲の上に成り立っていることを忘れてはなるまい▼一方、細田博之衆議院議長辞任の際の記者会見は、旧統一教会との関係やセクハラ問題などについてなら納得のいく回答はなかったにもかかわらず、解明しようとする質問は皆無だったらしい。芸能事務所への激さとはまったく違い、ニュース番組やワイドショーでは芸能事務所のことは連日取り上げるのに細田氏のことはさっぱりだ。あんな有権者を馬鹿にした態度はないと思うのだが、詰司言